

富士市で戦争を知り、平和について考える

富士市には、戦争当時の様子を伝える多くのものが遺されています。
実際の場所を訪ね、見て、感じて、平和について考えてみませんか。

軍人墓地

富士市からも、たくさん的人が兵隊として戦争に駆り出されました。須津川緑地には、日清戦争から太平洋戦争までの間に戦場で命を落とした地区の人たちのため、遺族会の皆さん的手で 224 の石碑が建てられ、1996年に現在の地に移設されました。

毎年、秋のお彼岸には、遺族会と地区の人たちが慰靈祭を行い、平和への祈りを捧げています。



静岡県抑留犠牲者慰靈碑

戦争が終わったにもかかわらず、シベリアやモンゴルといった寒さが厳しい地域で、つらい仕事をさせられた人々がいました。

多くの人々が無理やり連れていかれ、静岡県では 2 千人近くの人々が亡くなっています。

この慰靈碑は、こうした悲しい歴史を伝え、平和を祈るために、2003 年に建てられました。



被爆二世クスノキ

米の宮公園には、2本のクスノキが植えられています。このクスノキの親となる木は、長崎で原子ばくだんをうけても青々と芽を出し、長崎の人々に生きる勇気と希望を与えたました。

1999 年、富士商工会議所の人が長崎に行ったとき、「被爆クスノキ」の種から芽が出た苗木を富士市に持ち帰り、2001 年 8 月 9 日（長崎原爆の日）に、米の宮公園に植えました。



富士山かぐや姫ミュージアム 歴史民俗資料館「戦争とくらし」コーナー

富士山かぐや姫ミュージアムにある歴史民俗資料館には、「戦争とくらし」コーナーがあります。写真パネルや貴重な実物資料を展示していて、無料で見学することができます。

所在地 富士市伝法 86-7
開館時間 9:00~17:00
休館日 月曜日（祝日は開館・祝日の翌日・年末年始）
電話 0545-21-3380



富士市ウェブサイトでは、市内にあるほかの遺跡を紹介しています。
こちらの QR コードからご覧ください。

富士市と平和

～平和について考えてみよう～



昭和 60 年 11 月 19 日に、富士市は核兵器廃絶平和宣言をし、令和 7 年で 40 年となります。

これは、核兵器のない平和な世界になるように、富士市全体で願うことを約束したものです。

私たちが生きていく世界が平和であるために、一人一人が「平和」について考えてみましょう。

★核兵器…核エネルギーを使った兵器。原子ばくだんなど。



令和 7 年 7 月

富士市 総務部 シティプロモーション課

富士市は核兵器廃絶平和宣言都市



戦争の惨禍をなくし 世界の恒久平和を実現することは 全人類の願いであり
世界で初めての被爆体験を持つ日本国民の悲願である
しかしながら 核軍備拡大競争は 依然として進み
平和に対する 深刻な脅威と 戰争の危険は後退していない
富士市は 平和憲法のもとで 平和で明るい生活を享受するため
市民憲章を制定し 市民の行動原理として培ってきている
富士市民は 戦争をなくし 真の平和を実現するための努力を明らかにし
富士山のように 広く 美しく 高く たくましく
正しく生きることを悠久の理想として
非核三原則を遵守し すべての核兵器の廃絶を求めるこことを
市民の総意とする平和都市を ここに宣言する

昭和60年11月19日 富士市



こんなところに宣言塔・モニュメント



平和にまつわる日

●8月6日 広島平和記念日 8月9日 長崎原爆の日

1945年に、広島県と長崎県に原子爆弾という大きな爆弾が落とされ、たくさんの人々が亡くなったり、けがをしたり、悲しい思いをしました。

●8月15日 終戦記念日

たくさんの人々が亡くなったり、悲しい思いをしました。
みんなが生活している日本が、戦争をしないと約束しました。

●9月21日 國際平和デー

國際連合が決めた平和の記念日。すべての国、すべての人々の願いである「國際平和」をみんなで考えてすすめていきましょうという日。「この日一日だけでも、世界中の戦いをやめて、ぼうりょくのない日にしよう」と、すべての国や人々によりかけています。

平和への願いをこめて

みんなが考える「平和」ってどんなことだろう



思いついたことを書いてみよう。